

令和7年度第2回多摩市総合教育会議 要点記録

- 1 日時：令和7年11月14日（金）午後3時から5時
- 2 場所：多摩市役所3階 特別会議室
- 3 出席者

出席委員（6名）

市長	阿部裕行
教育長	千葉正法
委員	岩佐玲子
委員	原島久男
委員	小林昭一
委員	中馬幸代

出席職員（15名）

企画政策部長	鈴木誠
教育部長	小野澤史
教育部参事・教育指導課長事務取扱	山本勝敏
企画課長	小形雄一郎
財政課長	赤松勝也
教育振興課長	城所学
社会教育・文化財担当課長	石山正弘
公民館長	伊藤麻衣子
図書館長	渡邊哲也
学校支援課長	櫻田芳恵
学校給食センター長	三浦博幸
教育部副参事	竹田昂士
教育指導課統括指導主事	池田豊一
教育協働担当課長	野原敏正
教育センター長	豊島佳代

1 開会

千葉教育長 協議事項に入る前に、大変おめでたい出来事があったのでお話をさせていただく。令和7年10月10日の官報告示をもって、市内在住の渡辺晃男氏が重要無形文化財「木工芸」の保持者、いわゆる「人間国宝」に認定された。市内在住者が人間国宝に認定されたのは初めてのことである。その功績は非常に大きく、多摩市及び市民の誇りであることから、教育委員会だけでなく、市長部局とも協力して、その偉業をたたえる取組を行いたいと考えているので、市長の後押しをお願いできればと考えている。

阿部市長 人間国宝に認定されたのは、非常に素晴らしいことであり、市としても後押しをしていきたいと考えている。
令和7年度第2回多摩市総合教育会議を開始する。

2 協議・調整事項

(1) 令和8年度教育委員会の重点事項について

千葉教育長 令和8年度は第六次多摩市総合計画の4年目である。3つの分野横断的に取り組むべき重点テーマの「環境との共生」、「健幸まちづくりの推進」、「活力・にぎわいの創出」に向けた取組を着実に推進するとともに、基礎自治体として将来にわたり持続可能な行財政運営を続け、多様化する行政需要に対応していく必要がある。教育委員会においては、令和7年3月に策定した「第二次多摩市教育振興プラン（改訂版）」に基づき、教育目標の達成を目指すとともに、喫緊の課題を踏まえた教育施策を展開し、多摩市の教育を推進していく方針である。
教育委員より、資料1に基づいて合計8件の重点事項を説明する。

岩佐委員 「資料1（1）多摩市立八ヶ岳少年自然の家の今後について」に基づき説明

原島委員 「資料1（2）社会教育と家庭教育の推進について」に基づき説明

小林委員 「資料1（3）多摩市立学校の再編について」に基づき説明

中馬委員 「資料1（4）学校給食センターの建替整備等について」に基づき説明

岩佐委員 「資料1（5）特別支援教育の推進について」に基づき説明

原島委員 「資料1（6）不登校児童・生徒への支援や学びの多様化学校の設置について」に基づき説明

中馬委員 「資料1（7）教員の働き方改革と部活動の地域連携・地域展開について」に基づき説明

て」に基づき説明

小林 委員

「資料1 (8) 学校の断熱・遮熱について」に基づき説明

千葉 教育 長

以上8点の重点事項を申し上げた。教育委員会としても持続可能な多摩市を将来世代に引き継いでいくため、事務事業等の見直しを行うとともに、「新たな生活様式」を踏まえた教育施策を進めていかねばならないと認識している。多摩市の教育環境や教育活動を更に向上できるよう、必要な措置が講じられ、多摩市教育委員会と一体となって教育行政を進めていただくことを切に要望する。

阿 部 市 長

(1) 多摩市立八ヶ岳少年自然の家の今後について質疑

今後10年間は安心して利用いただける施設を目指し、5年の間に運営収入の改善や施設利用方法について検討することのだが、具体的な案があれば説明していただきたい。

石山 社会教育・
文化財担当課長

令和9年度に料金を改定できるように調整しているところである。他市の活用については、現在利用している八王子市以外の自治体にも広く活用していただきたいと考えている。更に施設予約システムの更新に合わせて、八ヶ岳少年自然の家も追加できるよう検討を始めており、空き状況の確認をやすくすることで稼働率の向上を目指していきたい。

阿 部 市 長

建物の維持管理は多摩市の税金で負担しているため、安く使えるから様々な自治体が利用する、というだけでは運営に苦慮してしまう。イニシャルだけでも他自治体に負担していただけるような仕組みがあるとよい。使い慣れた施設を使うことで教員の負担を軽減することができるなど、利便性は高いものがあるので、見合った料金を設定して持続可能な運用をしていただきたいと思う。

阿 部 市 長

(2) 社会教育と家庭教育の推進について質疑

物価高騰対策の一つとして、小中学生全員にオリジナルの書店利用券を配る予定とのことだが、親しみやすい愛称をつけたほうがよいかと感じている。また図書館の運営に関して、子どもたちが楽しくなるような取組や教育施策など、今後の展望や意欲を聞かせていただきたい。

渡 邊 図 書 館 長

書店と連携し「本のまち書店利用券」として書店利用券の配布を予定している。本のまちプロジェクトとしては、昨年度から市内4つの書店と3つの図書館、計7つの拠点で連携し、おはなし会や企画展示、スタンプラリーなど実施している。プロジェクトについて書店からは、大変喜ばしいとの声をいただいております、連携も円滑に進んでいる。これをきっかけに更なる連携を進めていきたい。

阿 部 市 長

(3) 多摩市立学校の再編について質疑

これまでも適正配置、適正規模の観点で論じられてきたが、学校は教育だけではなく、市民の活動や地域コミュニティの核にもなっている。人口減少から、現在のまま存続していくことは難しい状況にある。検討にあたっては教育委員会だけでなく、市長部局とも連携して進めていく必要があると思うが、どう考えているか。

櫻田学校支援課長 持続可能な社会の作り手として、子どもたちの成長を支えていく学校はどうあるべきか、より良い教育内容、教育環境の実現のために魅力ある育ちの場、未来の学校をどうしていくか、といった点で再編にあたって教育委員会としての検討している。

小野澤教育部長 地域コミュニティの核という点について、これまでコミュニティ・スクールは様々な方に支えていただきながら運営を続けてきた。これからはより良い学校を作りながら、学校も地域に貢献していくことが必要であると考えている。地域の核となる機能なので、街づくりや都市計画の一環として考えていきたい。

阿 部 市 長

(4) 学校給食センターの建替整備等について質疑

これからの学校給食は災害時の対応や学童クラブとの連携もある。地球沸騰化という状況もあり、夏休みにお弁当を持つことはリスクがあるのではないかと推察する。そのような点について、学校給食センターの建替えの検討事項としてどう考えているのかお聞きしたい。

三 浦 学 校 給 食
セ ン タ ー 長

現在基本計画を策定している状況であり、子どもたちに安全でおいしい給食を安全に届けることを基本理念としている。また地域交流や防災機能は重要事項として考えている。学童の対応や防災機能等、詳細は検討していきたいと考えている。

阿 部 市 長

学校配膳室の作業環境について、熱中症のリスクが高まっているが具体的な対応はあるか。

三 浦 学 校 給 食
セ ン タ ー 長

学校には災害時のスポットクーラーが配置されているため、学校配膳室に活用できないか検討している。また用務員室などをクールスポットとして活用することについて学校と調整している。現時点でできる対応は早急にしていきたいと考えている。

阿 部 市 長

(5) 特別支援教育の推進について質疑

学校に特別支援学級の教職員がどの程度配置されているか、また保護者からの評価について教えていただきたい。

豊 島 教 育
セ ン タ ー 長

まず、保護者からの評価についてだが、少人数できめ細やかな指導をしてもらった、自信がつくような指導をしてもらった、といった意見をいただいている。一方で学校が子どもたちに配慮している内容に関する家庭と

の情報交換については、一定程度の課題があると感じているため、引き続き学校と連携して取り組む必要があると感じている。

山本教育部参事・
教育指導課長事務取扱

教職員の配置について、東京都の基準に基づいて配置しており、欠員はない状況である。一方で現場や保護者からは、障がいのある子どもたちに対して、きめ細やかな指導をするために、職員の配置数を増やしてほしいと、要望を受けることもある。

保護者からの評価については、インクルーシブ教育の視点から、普通学級との交流を進められる機会が欲しいとの意見もいただいている。

阿 部 市 長

(6) 不登校児童・生徒への支援や学びの多様化学校の設置について質疑

あたご Space の卒業式に出席し、子どもたちがたくましく育っていることを確認し、素晴らしい取組と感じている。学びの多様化学校の設置検討について、現在の課題などあれば伺う。

野 原 教 育
協 働 担 当 課 長

教育センターのある諏訪複合教育施設内に設置する方向で検討を進めている。子どもたち一人ひとりに寄り添った支援とするとともに、教員の支援も行うことが大事なポイントである。費用については課題があるので、職員の配置や施設整備などに、国の交付金等で支援をいただけるとありがたいと感じている。

阿 部 市 長

(7) 教員の働き方改革と部活動の地域連携・地域展開について質疑

財政的に厳しい状況の中で試行実施をしている状況であるが、部活動の地域連携・地域展開を進めていく中での現在の課題など伺う。

池田教育指導課
統括指導主事

部活動と地域のクラブとの連携方法が当初からの課題となっている。また、子どもたちがどのような指導員と活動していくのかについて、保護者や関係者から心配の声が上がっている。10月に行った説明会では、子どもたちが積極的に質問をしている様子も見られた。

阿 部 市 長

指導員やボランティアに対して報酬を支払うことができるのか、また引率など責任を持って活動してもらうためには市としてどの程度支援が可能か、さらに広域での活動を行う場合も考えられるが、そういった点を検討する上での課題はあるか。

池田教育指導課
統括指導主事

連絡体制をしっかりと構築する必要があり、活動の際の怪我の対応など、子どもたちの安全を確保することが重要と考えている。アプリケーションなどを活用し、緊急時には適切に対応できる体制を整える必要がある。

小 林 委 員

試行実施している3校については、基本的には外から指導員が来ているため、地域展開ではなく地域連携のレベルで実施している。最終的には地域のクラブへ子どもたちが行くことを見据えて進める必要がある。ハンドボールクラブは平日と休日の連携に加えて、夜間にも実施してい

る。広域連携のため保護者が送迎するところがあれば巡回バスを運用しているところもあり、費用は個人負担で運用している。連絡体制はアプリで行い、保険も完備している。また鶴牧中学校のサッカー部は、3年生が引退し部員が6名となったため、すべて地域のクラブに入っているような状況にある。バスケットボール部は全校にあるため、選抜されたU-15を集めて、毎週2回夜間で合同練習を実施している。そのような展開をしている取組もあるため、3校の試行実施に限らず、広く実施していく必要がある。

阿 部 市 長 地域展開をする場合、実施主体がボランティアグループか、スポーツクラブかによって、受け入れ体制が異なるため、展開に当たってはその点についても考える必要があるだろう。また保護者と自治体がどの程度費用負担すべきか、さらにどのようなスキームで実施すべきかなど課題はある。部活動とスポーツクラブでは、目的が異なるところがあるため、展開については十分に検討して進める必要がある。

小 林 委 員 現在は実施主体に関わらずサッカーの公式戦でベンチに入る際は、指導ライセンスが必要となっているなど、以前と状況は変化している。また地域展開の費用負担については保護者負担で行うのが理想と考えている。行政の役割については、地域のクラブの情報の集約や、全体の調整役を担うことが重要かと思う。例として長野県松本市の場合は、市のホームページにクラブの名称、コーチの紹介や会費がリスト化されており、その中から選択できるようになっている。

阿 部 市 長 (8) 学校の断熱・遮熱について質疑
7月の平均気温が5年前と比較して、4.7℃高い状況にあり、学校の最上階についても早急に対応すべき課題となっている。これらについてどのように対応しようと考えているか。

城所教育振興課長 校舎の断熱化について庁内では省エネルギー専門部会で検討しているが、断熱化工事については材料費の高騰などから実施を見送っている状況にある。エアコンを含む様々な設備の改修が控えている中、財源の確保、現場でできる対策の研究など、周辺自治体の情報を共有しながら優先順位をつけ、対策を進めていきたい。

阿 部 市 長 ガラス窓に断熱フィルムを張るだけでも、暑い日の室温は下がるので、大規模改修だけでなく、できることから実施していただければと思う。

小 林 委 員 昨年と今年、保護者や市民の方と協力して一教室15,000円程度で、シェード等を設置し、室温を下げることができた。来年度も引き続き実施する予定である。財政的に厳しい面もあるかと思うが、気候非常事態宣言の具体化として、すべての学校は難しくとも、天井の断熱についてはぜひ進め

ていただきたい。

阿 部 市 長 二酸化炭素の排出量について、アメリカや中国と比較すると日本は少ないが、いかにして二酸化炭素排出量を減らしていくか、また命を守らなければならないかということは喫緊の課題であり、子どもたちが快適に学習できる環境を整備するために取り組んでいく必要がある。

小 林 委 員 6年生の総合の時間では気候非常事態宣言についても学んでおり、エアコンの設定温度やガスの使用量など身近にできることから工夫をしている。他国との比較に限らず、喫緊の課題として行政としても気を引き締めて取り組んでいただきたい。

3 その他

非公開会議の実施

4 閉会

阿 部 市 長 その他質問もないことより閉会とする。

以上